

【全体概要】

本県では、切花用フランネルフラワーで初の四季咲き性品種「ファンシーマリエ」を平成26年に開発した。この品種を活用して高品質な切花を安定供給できる産地づくりを推進するため、市場等と連携した販路拡大や現地実証に基づいた栽培マニュアル作成などに取り組む。

新品種・新技術等の概要

○フランネルフラワー 「ファンシーマリエ」

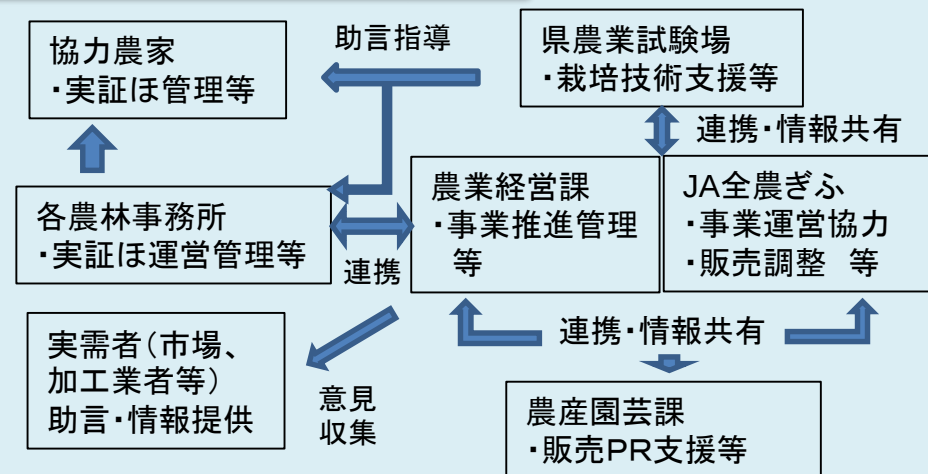
本品種は四季咲き性で、秋も高品質な切花出荷が可能となり、ブライダル需要などの獲得が期待される。



主な取組内容

- 栽培検討会の開催(8月、9月)
実証ほの現地検討と技術的課題の意識統一
- 販売状況調査(9月、2月)
市場及び実需者の評価及び要望調査を実施
- 実需者とのマッチング
IFEXにおいて花店等の意見収集

コンソーシアム候補の体制図



課題と今後の対応

- 平成30年度実績
 - ・ぎふフラワー研究会を軸にファンシーマリエの栽培技術並びに出荷時期の調整等を実施
 - ・7名により約10万本を出荷
 - ・市場や仲卸、花き専門店と連携し、価格の維持に取り組む
- 今後の展開
 - ・研究会活動の活性化
 - ・生産者及び生産本数の拡大
 - ・生産数量の平準化と出荷機関の拡大